



かじとくだより 第117号

鹿児島県立加治木特別支援学校

〒899-5241

鹿児島県始良市加治木町木田1784番地

TEL (0995)63-5729

FAX (0995)63-5498

「地域に溶け込む学校」

教頭 鳥越 美保

病弱や肢体不自由のある児童生徒が学ぶ加治木特別支援学校は、昭和55年に南九州病院内に開校、平成10年には現在の場所に新校舎が完成し、平成13年からは自宅通学生も在籍するようになり、今に至っています。

この地域で44年の歴史を刻んでいる本校ですが、地域の会合等に出かけると、「加治木特別支援学校って、どこにありますか?」「南九州病院の敷地内にある学校ですね。」と声をかけられることは少なくありません。

そこで、年度の初めに、PTA会長とともに、「本校を地域にアピールしよう。」という目標を立てました。思いが届き、始良市PTA連絡協議会の広報紙「愛礼志」に本校の特集を組んでいただくことになりました。取材に来られた方々も、本校を訪れるのは初めてとのこと。「子どもたちが懸命に学ぶ姿が素晴らしい。」と話されました。広報紙は、始良市の学校に通う子供さんがいる全家庭に配布されました。きっと多くの方に加治木特別支援学校のことを知っていただけたはずです。

しかし、A3の紙面にはまだまだ入りきれません。本校ならではの教育内容、なんと言っても児童生徒の学びの様子、頑張る姿を発信していくことが次なる目標です。

特別支援学校がもっともっと地域に溶け込み、「多様な学びのよさ」を発信する存在となることを願います。



〈始良市P連広報誌「愛礼志」〉



〈高等部 修学旅行〉

★高等部 修学旅行★

11月19日(火)~21日(木)、高等部の修学旅行が行われました。主な目的地は、長崎県佐世保市にあるハウステンボスです。

1日目は、熊本城を背景に記念写真を撮りました。宿泊するハウステンボスの隣のホテルは、とても豪華でみんな驚いていました。

2日目は、いよいよハウステンボスへ。事前に自分たちで考えた計画に沿って、アトラクションや食事を楽しみました。オランダ生まれのミッフィーのショーやグッズもあり、いくら時間があっても足りないくらい、ハウステンボスを満喫することができました。

3日目は、鳥栖市にあるステーキハウスで昼食をとりました。グランドピアノの生演奏を聴きながら、優雅においしい料理をいただきました。

3日間とも好天に恵まれ、参加した2,3年生の8人は、たくさんの楽しい思い出を作ることができました。

♪ 学習発表会 頑張りました ♪

小学部



『にじいろコンサート』のびのび1・2・3・4組

音楽が大好きな子どもたち!オープニングでは、音楽の学習で歌っている「ひとりじゃないさ」の曲に合わせて、タンプリンでの返事を元気いっぱいに披露しました。「にじ」の合唱では、声の大きさや歌詞に合わせた動きをたくさん練習してきました。「かえるの合唱」の楽器演奏では、一人一人が選んだ楽器で、伴奏に合わせてたり、リズムよくたたいたりするなど目標を決めて取り組みました。エンディングのジャンボリミッキーダンスで大盛り上がり!練習の成果を存分に発揮し、素敵なコンサートになりました。

『ミニオンのへんしんトンネル〜ぼくたちのアレをとりもどせ〜』のびのび5・6・7・8組

ミニオン扮する子どもたちが、怪盗ジリーに盗まれたアレを取り返すためにへんしんトンネルを使って、パワーアップ!?好きなことや日々頑張っていることを中心にそれぞれ発表しました。当日は、全員が登校し、元気に笑顔で、時にドヤ顔で得意技を発表することができました。最後は、YMCAの曲にのせて6年生の3人が盗まれたアレ(校訓「明るく」「強く」「仲良く」)を披露し、無事に幕を閉じました。保護者の方からもたくさんのお褒めの言葉をいただき、子どもたちはとても嬉しそうでした。



中学部



『ハッピースマイルサーカス かじとく公演』開幕!!

中学部生徒8人は、日々の学習の成果をサーカスの演技で披露しました。

ピエロの3人は、個性豊かな衣装を紹介したあと、ポールマジックや火の輪くぐりに挑戦しました。ダンサー5人は、楽器を鳴らしたり、風や布の動きを感じたりしながら優雅に踊りました。また、マジックショーでは、得意の腕や手の動きでスイッチを押して音楽を流したり、授業で練習を積み重ねている「選ぶ力」や、引っ張る手の力で、トランプマジックや出現マジックを披露したりしました。最後は、3年生3人の合図で、中学部全員が風船を体育館中に飛ばして、発表を締めくくりました。会場が一体となり、楽しいサーカス公演となりました。

高等部

13人の生徒全員が「笑顔の種」をまき、「頑張っていること」、「できるようになったこと」、「将来どのように生活したいか」などのテーマで発表を行い、「笑顔の花」が百花繚乱に咲き誇る高等部を観てもらいました。

「春」グループは、自らの進路選択のために調べたことや展望を弁論で発表しました。2グループに分かれた「夏」のうち、国語・数学グループでは地図を使って日頃の学習の様子を発表し、絵画表現グループでは大きな筆を使って力を合わせて絵を描きました。「秋」グループはウインドチャイムやギター演奏、SRCウォーカーでの歩行など披露し、「冬」グループはマリオネットやスイッチを操作してダンスを踊り、アリーナを『アナと雪の女王』の世界に変えました。最後に3年生が漢字一文字で学校生活を振り返り、これまでの成長への感謝を伝えました。



訪問教育学級



今年度の訪問教育学級の学習発表会は、小学部6人はビデオ映像での発表、高等部の生徒は、スクーリングで登校し、友達と一緒にアリーナでの発表でした。小学部の児童は「きってのないおくりもの〜がんばりをとどけよう〜」という演目で、日頃頑張っている様子を発表・紹介しました。個人の発表だけでなく、一人一人がハンドベルで奏でた音色をひとつの曲につなげて、楽曲「切手のない贈り物」を発表しました。見ている友達や家族、先生にがんばりを届けることができました。高等部の生徒は「百花繚乱〜笑顔の花〜」という演目で頑張っていることの発表でした。元気に手を動かしながら、マリオネットの動きを表現することができました。久しぶりの学校で少し緊張しましたが、友達と一緒に発表できた思い出が宝物の一つになりました。